

新宿区

夏目漱石記念施設整備基金

平成29年9月24日に新宿区立漱石山房記念館が開館しました。平成25年、記念館の建設のため創設した新宿区夏目漱石記念施設整備基金は、開館後も資料の収集や修復等に役立てるため、引き続きご寄附を募っています。令和3年度は下記のとおりご厚志を賜りました。ご支援いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。



令和3年度寄附実績

7,473,000 円
(230 件)

累計 139,157,131 円
(2,837 件)

※平成25年7月1日～令和4年3月31日

寄附の活用

基金で購入させていただいた資料の一部を新収蔵資料として公開しました。公開された資料をご紹介します。

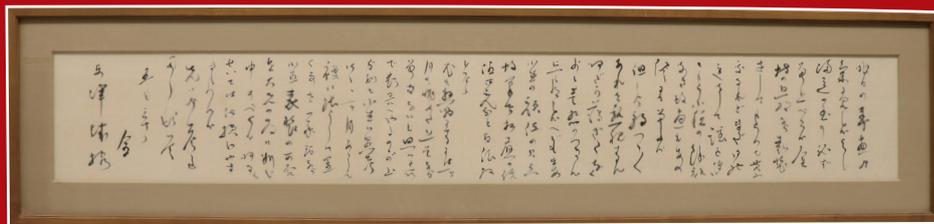
岡本一平扇面額「低徊々々 漱石先生」

画家・漫画家・文筆家の岡本一平が描いた夏目漱石像。岡本は漱石像を複数描いているが、本作品は扇面仕立てにしたもので、ほかに例がなく貴重である。揮毫・落款は、「低徊々々 漱石先生 一平 逸民寫 印印」



夏目漱石 松根東洋城宛て書簡(明治45年5月30日[推定])

漱石が、門下生で俳人の松根東洋城に宛てた書簡。漱石が描いた玉澗(南宋の画僧)風の山水画を東洋城が称賛したため、その山水画を後日進呈する旨と、画の出来映えについて漱石自身が語っている。漱石と東洋城の親密さを示す資料として価値が高い。なお、漱石山房記念館では、この山水画と推定される作品も所蔵している。



問合せ

新宿区文化観光産業部
文化観光課文化資源係

〒160-8484

東京都新宿区歌舞伎町1-5-1 第1分庁舎 6階

☎ 03-5273-4126 FAX 03-3209-1500